

国立病院機構名古屋医療センター臨床研究審査委員会
議事概要

開催日時：2026年 2月19日（木） 15:00～17:00

開催場所：臨床研究センター4階 カンファレンスルーム（ハイブリッド形式）

委員出欠：*外部委員（TV会議出席）

出席 11名	小林麗（委員長）、平野隆司（副委員長）、片岡政人*（会場出席）、松尾恵太郎*、鋤塚八千代*、浅田隆太*、串田正克*、後藤もゆる*、石田勢津子*、森川ゆず*、秦融* （医学/医療6名、法律・生命倫理2名、一般の立場3名）
欠席 0名	

I. 研究の審査

委員長より出席委員について、審査研究課題の当事者およびCOI確認を行い、臨床研究法の委員会成立要件を満たしていることを確認し、以下の研究課題（継続審査4件、疾病等報告7件、変更審査7件、定期報告5件）について審査及び実施計画事項軽微変更（4件）の報告を行った。
なお、都合により浅田委員は途中より退席となったが委員会成立要件は満たしていた。

1. 新規継続審査（4件）

新規継続1	
整理番号	C2025-202
研究課題名	経静脈リード型ペースメーカー植え込み術後のポケット圧迫における板バネ式圧迫器と圧迫包帯法の臨床効果に関する多施設共同探索的非盲検無作為比較試験（R7-EBM（心脳）-02）
統括管理者	NHO 東広島医療センター 西樂 顕典
実施計画受付	2026年2月10日
審査参加状況	（参加）出席委員全員 （不参加）なし
質疑応答者	[TV会議参加] なし
審査	2026年1月20日 CRB 審査での指摘事項に対して提出された回答及び修正資料（実施計画、研究計画書、説明同意文書、各種手順書等）は、適切に対応・修正されていることが確認された。その他の審査資料については変更ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。
結論	判定 承認 <input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他（ ）
	理由等 -

新規継続2	
整理番号	C2025-204
研究課題名	人工内耳適応者を対象とした CT 画像を用いた蝸牛構造・蝸牛長測定、術中 ECoG モニタリング、術後 CT による電極位置確認の組み合わせに関する多施設共同ランダム化比較試験（R7-EBM（感覚）-02）
統括管理者	NHO 大阪医療センター 西村 洋
実施計画受付	2026年1月28日
審査参加状況	（参加）出席委員全員 （不参加）なし
質疑応答者	[TV会議参加] なし
審査	2025年12月18日 CRB 審査での指摘事項に対して提出された回答及び修正資料（実施計画、研究計画書、説明同意文書、効果安全性評価委員会に関する手順書）は、指摘内容以外に関連する記載の見直しが必要とのことで追加修正等を含んでいた。修正資料について審議され、適切に対応・修正されており、追加修正等も含めて問題ないとされた。その他の審査資料については変更ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。
結論	判定 承認 <input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他（ ）
	理由等 -

新規継続 3		
整理番号	C2025-205	
研究課題名	間質性肺炎合併非扁平上皮非小細胞肺癌に対する、カルボプラチン+パクリタキセル+ベバシズマブ+アテゾリズマブ療法の有効性と安全性を検討する第2相試験 (R7-EBM (癌呼) -01)	
統括管理者	近畿中央呼吸器センター 谷口 善彦	
実施計画受付	2026年2月5日	
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし	
質疑応答者	[TV会議参加] なし	
審査	2026年1月20日 CRB 審査での指摘事項に対して提出された回答及び修正資料(実施計画、研究計画書、説明同意文書、各種手順書)は、適切に対応・修正されていることが確認された。その他の審査資料については変更ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。	
結論	判定	承認 <input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他()
	理由等	—

新規継続 4		
整理番号	C2025-201	
研究課題名	切除不能な進行膀胱癌に対するラクチトール併用化学療法の有用性を検討する多施設共同単独パイロット試験 (R7-EBM (消化) -01)	
統括管理者	佐賀病院 阿比留 正剛	
実施計画受付	2026年2月4日	
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし	
質疑応答者	[TV会議参加] なし	
審査	2025年12月18日 CRB 審査における修正指示事項については簡便な審査の指示であったが、統括管理者より、委員会の指示事項に関連する対応で監査手順書を見直して修正としたい旨の申し出があり、委員会審査とした。委員会の指摘事項に対して提出された修正資料(実施計画、研究計画書、説明同意文書、情報公開文書、服薬日誌、監査手順書)について確認され、適切に対応・修正されており、監査手順書の追加修正等についても問題ないことが確認された。他の審査資料については変更ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。	
結論	判定	承認 <input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他()
	理由等	—

2. 疾病等報告 (7 件 / 7 報告)

疾病 1		
整理番号	C2020-011	
研究課題名	小児急性骨髄性白血病を対象とした微小残存病変を用いた層別化治療、および非低リスク群に対する寛解導入後治療におけるゲムツズマブオゾガマイシン追加の有効性および安全性を検討するランダム化比較第 III 相試験 (JPLSG-AML-20)	
統括管理者	特定非営利活動法人 日本小児がん研究グループ (JCCG)	
疾病等報告書受付	2026年2月2日	
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし	
質疑応答者	なし	
審査	敗血症性ショック (第1報; 既知事象、転帰: 死亡) について審議された。試験治療開始前に TLS、AKI 合併症例で、寛解導入療法開始後に FN 発現し治療中に循環不全からアシドーシスが進行した事象で、ICU 管理で治療するも血圧保てず死に至る。因果関係ありの判定の報告において、当該臨床研究の継続は慎重に進めることで可能とされた。委員会は全員一致で承認と判定した。	
結論	判定	承認 <input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他()
	理由等	—

疾病 2		
整理番号	C2020-012	
研究課題名	小児・AYA・成人に発症した B 前駆細胞性急性リンパ性白血病に対する多剤併用化学療法が多施設共同第 III 相臨床試験 (JPLSG-ALL-B19)	
統括管理者	特定非営利活動法人 日本小児がん研究グループ (JCCG)	
疾病等報告書受付	2026 年 1 月 20 日	
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし	
質疑応答者	なし	
審査	肝機能の急性障害 (第 2 報 (CRB 報告は第 1 報) ; 既知事象、転帰 : 回復) について審議された。再寛解導入療法 IA 後に腸管血行不全 (第 1 報 ; 因果関係なし) と判断されたが、検査や改善しない状況より薬剤性肝障害に伴う門脈圧亢進による腸管浮腫/血行不全と判断された事象で、治療により転帰軽快。試験薬の影響が考えられるとのことより因果関係ありの判定報告において、当該臨床研究の継続については可能とされた。委員会は全員一致で承認と判定した。	
結論	判定	承認 <input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等	—

疾病 3		
整理番号	C2020-012	
研究課題名	小児・AYA・成人に発症した B 前駆細胞性急性リンパ性白血病に対する多剤併用化学療法が多施設共同第 III 相臨床試験 (JPLSG-ALL-B19)	
統括管理者	特定非営利活動法人 日本小児がん研究グループ (JCCG)	
疾病等報告書受付	2026 年 2 月 4 日	
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし	
質疑応答者	なし	
審査	可逆性後白質脳症症候群 (第 1 報 ; 既知事象、転帰 : 回復) について審議された。再寛解導入療法開始後、頭痛・視野障害・痙攣を認め頭部 MRI にて診断された事象で、治療により転帰回復。発症時の血圧高値の可能性もあるが、試験薬の影響が考えられるとのことより因果関係ありの判定報告において、当該臨床研究の継続については慎重に進めることで可能とされた。委員会は全員一致で承認と判定した。	
結論	判定	承認 <input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等	—

疾病 4		
整理番号	C2020-013	
研究課題名	小児・AYA 世代および成人 T 細胞性急性リンパ性白血病に対する多施設共同後期第 II 相臨床試験 (JPLSG-ALL-T19)	
統括管理者	特定非営利活動法人 日本小児がん研究グループ (JCCG)	
疾病等報告書受付	2026 年 1 月 27 日	
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし	
質疑応答者	なし	
審査	肺炎 (第 3 報 ; 既知事象、転帰 : 未回復) について審議された。寛解導入療法開始後、左上肺野に真菌感染を疑う浸潤影出現、その後肺炎像増悪、浸潤影拡大・胸水を認めた事象で、試験治療中止、抗真菌薬等で治療するが肺炎増悪、心外膜炎・心筋炎の可能性も否定できず治療可能な病院へ転院。転院後、左上葉切除術・真菌剤等治療しハプロ移植したが、低酸素脳症となり緩和ケアの方針となり抗真菌薬は継続中であつたが死亡された報告をうけたとのこと。因果関係ありの判定に変更なしの報告において、当該臨床研究の継続は慎重に進めることで可能とされた。委員会は全員一致で承認と判定した。	
結論	判定	承認 <input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等	—

疾病 5		
------	--	--

整理番号	C2020-013		
研究課題名	小児、AYA 世代および成人 T 細胞性急性リンパ性白血病に対する多施設共同後期第 II 相臨床試験 (JPLSG-ALL-T19)		
統括管理者	特定非営利活動法人 日本小児がん研究グループ (JCCG)		
疾病等報告書受付	2026 年 1 月 28 日		
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし		
質疑応答者	なし		
審査	肺ムコール症 (第1報; 既知事象、転帰: 未回復) について審議された。再寛解導入療法開始後、発熱・CRP 上昇を認め、抗菌・真菌薬等治療するも改善得られず、CT 等にて肺膿瘍を認め更に横隔膜下・肝膿瘍の状態となり各検査結果等より診断された事象で、治療・ドレナージ等実施。因果関係ありとの報告において、当該臨床研究の継続については慎重に進めることで継続は可能とされた。委員会は全員一致で承認と判定した。		
結論	判定	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等	-	

疾病 6			
整理番号	C2020-013		
研究課題名	小児、AYA 世代および成人 T 細胞性急性リンパ性白血病に対する多施設共同後期第 II 相臨床試験 (JPLSG-ALL-T19)		
統括管理者	特定非営利活動法人 日本小児がん研究グループ (JCCG)		
疾病等報告書受付	2026 年 1 月 29 日		
審査参加状況	(参加) 出席委員全員 (不参加) なし		
質疑応答者	なし		
審査	急性膵炎 (第2報; 既知事象、転帰: 回復) について審議された。早期強化療法 (IB+L) 開始し PEG-ASP の2回目投与5日後、顔面蒼白・末梢冷感・血圧測定不能・意識レベル低下が出現し、膵アミラーゼ、リパーゼの著明高値、腹部 CT で膵臓の腫大を認めた事象で、治療にて意識レベルは改善。その後の経過で転帰回復。因果関係ありの判定に変更なしの報告において、当該臨床研究の継続は慎重に進めることで可能とされた。委員会は全員一致で承認と判定した。		
結論	判定	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等	-	

疾病 7			
整理番号	C2020-013		
研究課題名	小児、AYA 世代および成人 T 細胞性急性リンパ性白血病に対する多施設共同後期第 II 相臨床試験 (JPLSG-ALL-T19)		
統括管理者	特定非営利活動法人 日本小児がん研究グループ (JCCG)		
疾病等報告書受付	2026 年 2 月 3 日		
審査参加状況	(参加) 浅田委員を除く出席委員 (不参加) なし		
質疑応答者	なし		
審査	急性心不全 (第1報; 既知事象、転帰: 軽快) について審議された。再寛解導入療法開始後、酸素吸入を要し体重増加・心エコーで EF 低下を認めた事象で、利尿剤・トルブタミド等治療実施にて転帰軽快。アントラサイクリン系抗がん剤使用があることから因果関係ありとの報告において、当該臨床研究の継続については慎重に進めることで継続は可能とされた。委員会は全員一致で承認と判定した。		
結論	判定	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等	-	

3. 変更審査 (7 件)

変更 1	
整理番号	C2019-001

研究課題名	高齢者急性骨髄性白血病(AML)の層別化により化学療法が可能な症例に対して若年成人標準化学療法の近似用量を用いる第II相臨床試験(JALSG-GML219)		
統括管理者	東京医科大学病院 伊藤 良和		
変更審査受付	2026年2月9日		
審査参加状況	(参加) 浅田委員を除く出席委員 (不参加) なし		
質疑応答者	なし		
審査	施設削除(1)・統括管理者を含む実施体制・施設情報・研究責任医師等、疾病等発生した場合の対応に関する手順書の内容を研究計画書に統合/廃止、及び臨床研究法改正への対応に伴う実施計画、研究計画書、説明同意文書、モニタリング手順書、研究分担医師リスト及び利益相反管理計画、並びにJALSG効果安全性評価委員会に関する細則、統括管理者(法人)に関する利益相反管理基準及び管理計画に関する書類、統計解析計画書等について審議された。当該変更について特に問題ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。		
結論	判定	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他()
	理由等	-	

変更2			
整理番号	C2019-002		
研究課題名	初発BCR-ABL1陽性急性リンパ性白血病(Ph+ALL)を対象としたダサチニブ、ポナチニブ併用化学療法および造血幹細胞移植の臨床第II相試験(JALSG-PhALL219)		
統括管理者	東京慈恵会医科大学附属第三病院 土橋 史明		
変更審査受付	2026年1月30日		
審査参加状況	(参加) 浅田委員を除く出席委員 (不参加) なし		
質疑応答者	なし		
審査	統括管理者を含む実施体制・施設情報・研究責任医師等、疾病等発生した場合の対応に関する手順書の内容を研究計画書に統合/廃止、及び臨床研究法改正への対応に伴う実施計画、研究計画書、説明同意文書、モニタリング手順書、研究分担医師リスト及び利益相反管理計画の変更、並びにJALSG効果安全性評価委員会に関する細則、統括管理者(法人)に関する利益相反管理基準及び管理計画に関する書類について審議された。当該変更について特に問題ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。		
結論	判定	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他()
	理由等	-	

変更3			
整理番号	C2020-004		
研究課題名	t(8;21)およびinv(16)陽性AYA・若年成人急性骨髄性白血病に対する微小残存病変を指標とするゲムツズマブ・オゾガマイシン治療介入の有効性と安全性に関する臨床第II相試験(JALSG-CBF-AML220 study)		
統括管理者	金沢大学附属病院 宮本 敏浩		
変更審査受付	2026年1月29日		
審査参加状況	(参加) 浅田委員を除く出席委員 (不参加) なし		
質疑応答者	なし		
審査	施設削除(2)・統括管理者を含む実施体制・施設情報・研究責任医師等、疾病等発生した場合の対応に関する手順書の内容を研究計画書に統合/廃止、及び臨床研究法改正への対応に伴う実施計画、研究計画書、説明同意文書、モニタリング手順書、研究分担医師リスト及び利益相反管理計画の変更、並びにJALSG効果安全性評価委員会に関する細則、統括管理者(法人)に関する利益相反管理基準及び管理計画に関する書類について審議された。当該変更について特に問題ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。		
結論	判定	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他()
	理由等	-	

変更4		
整理番号	C2020-012	
研究課題名	小児・AYA・成人に発症したB前駆細胞性急性リンパ性白血病に対する多剤併用化学療法の多施設共同第III相臨床試験（JPLSG-ALL-B19）	
統括管理者	特定非営利活動法人 日本小児がん研究グループ（JCCG）	
変更審査受付	2026年1月30日	
審査参加状況	（参加）浅田委員を除く出席委員 （不参加）なし	
質疑応答者	なし	
審査	統計解析責任者所属変更、実施期間延長、既承認の研究計画書／説明同意文書補遺内容（統括管理者を法人に変更し読替え）の反映、スケジュールの許容範囲見直し、HR群の症例集積完了に伴うランダム化終了等に伴う実施計画、研究計画書、説明同意文書、アセント文書の変更について審議された。当該変更について特に問題ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。	
結論	判定	承認 <input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他（ ）
	理由等	—

変更5		
整理番号	C2021-002	
研究課題名	小児・AYA世代の限局期成熟B細胞性リンパ腫に対するリツキシマブ併用化学療法の有効性の評価を目的とした多施設共同臨床試験（JPLSG-B-NHL-20）	
統括管理者	特定非営利活動法人 日本小児がん研究グループ（JCCG）	
変更審査受付	2026年2月5日	
審査参加状況	（参加）浅田委員を除く出席委員 （不参加）なし	
質疑応答者	なし	
審査	施設削除(3)を含む実施体制・施設情報・責任医師等の変更への対応に伴う実施計画、研究分担医師リスト及び利益相反管理計画の変更について審議された。当該変更について特に問題ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。	
結論	判定	承認 <input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他（ ）
	理由等	—

変更6		
整理番号	C2023-202	
研究課題名	間質性肺疾患を伴う関節リウマチに対する JAK 阻害薬の有用性と安全性の解析（THE JAK-RAIL STUDY）	
統括管理者	NHO 大阪南医療センター 大島 至郎	
変更審査受付	2026年2月10日	
審査参加状況	（参加）浅田委員を除く出席委員 （不参加）なし	
質疑応答者	なし	
審査	施設削除(1)を含む実施体制・責任医師等の変更への対応に伴う実施計画、研究計画書別添、説明同意文書別添、研究分担医師リスト及び利益相反管理計画に関する書類について審議された。当該変更について特に問題ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。	
結論	判定	承認 <input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他（ ）
	理由等	—

変更7		
整理番号	C2024-202	
研究課題名	ハイフロー療法下における短時作用型β2刺激薬の吸入法別効果を検証するランダム化比較試験：COPD および喘息患者の気道可逆性に関する研究（HFNC-SABA-ART Study）	
統括管理者	NHO 大阪南医療センター 奥田 みゆき	
変更審査受付	2026年2月12日	

審査参加状況	(参加) 浅田委員を除く出席委員 (不参加) なし	
質疑応答者	なし	
審査	同意取得から試験治療開始までの期間変更への対応に伴う実施計画、研究計画書補遺、説明同意文書について審議された。当該変更について特に問題ないことが確認され、委員会は全員一致で承認と判定した。	
結論	判定	承認 <input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等	—

4. 定期報告 (5 件)

定期 1		
整理番号	C2019-001	
研究課題名	高齢者急性骨髄性白血病(AML)の層別化により化学療法が可能な症例に対して若年成人標準化学療法の近似用量を用いる第 II 相臨床試験 (JALSG-GML219)	
統括管理者	東京医科大学病院 伊藤 良和	
定期報告書受付	2026年1月22日	
審査参加状況	(参加) 浅田委員を除く出席委員 (不参加) なし	
質疑応答者	なし	
審査	当該研究の実施状況 (対象者数の進捗、疾病等発生・不適合発生状況及び報告、安全性・科学的妥当性評価) について、特に問題ないことが確認された。利益相反について、管理基準に変更はなく、管理計画は変更審査に提出とのことより、委員会は全員一致で継続を承認と判定した。	
結論	判定	承認 <input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等	—

定期 2		
整理番号	C2019-002	
研究課題名	初発 BCR-ABL1 陽性急性リンパ性白血病 (Ph+ALL) を対象としたダサチニブ、ポナチニブ併用化学療法および造血幹細胞移植の臨床第 II 相試験 (JALSG-PhALL219)	
統括管理者	東京慈恵会医科大学附属第三病院 土橋 史明	
定期報告書受付	2026年1月19日	
審査参加状況	(参加) 浅田委員を除く出席委員 (不参加) なし	
質疑応答者	なし	
審査	当該研究の実施状況 (対象者数の進捗、疾病等発生・不適合発生状況及び報告、安全性・科学的妥当性評価) について、特に問題ないことが確認された。利益相反について、管理基準に変更はなく、管理計画は変更審査に提出とのことより、委員会は全員一致で継続を承認と判定した。	
結論	判定	承認 <input checked="" type="checkbox"/> 全員一致 <input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等	—

定期 3		
整理番号	C2020-004	
研究課題名	t(8;21)および inv(16)陽性 AYA・若年成人急性骨髄性白血病に対する微小残存病変を指標とするゲムツズマブ・オゾガマイシン治療介入の有効性と安全性に関する臨床第 II 相試験 (JALSG-CBF-AML220 study)	
統括管理者	金沢大学附属病院 宮本 敏浩	
定期報告書受付	2026年1月9日	
審査参加状況	(参加) 浅田委員を除く出席委員 (不参加) なし	
質疑応答者	なし	
審査	当該研究の実施状況 (対象者数の進捗、疾病等発生・不適合発生状況及び報告、安全性・科学的妥当性評価) について、特に問題ないことが確認された。利益相反について、管理基準に変更はなく、管理計画は変更審査に提出とのことより、委員会は全員一致で継続を承認と判定した。	

結論	判定	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致	<input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等	—		

定期 4				
整理番号		C2021-001		
研究課題名		小児の複数回再発・難治 ALL に対する少量シタラビンとブリナツモマブによる寛解導入療法の第 II 相試験 (JPLSG-ALL-R19 BLIN)		
統括管理者		特定非営利活動法人 日本小児がん研究グループ (JCCG)		
定期報告書受付		2026 年 1 月 22 日		
審査参加状況		(参加) 浅田委員を除く出席委員 (不参加) なし		
質疑応答者		なし		
審査	当該研究の実施状況 (対象者数の進捗、疾病等発生・不適合発生状況及び報告、安全性・科学的妥当性評価) について、特に問題ないことが確認された。利益相反について、管理基準及び管理計画に変更はなく、委員会は全員一致で継続を承認と判定した。			
結論	判定	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致	<input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等	—		

定期 5				
整理番号		C2021-002		
研究課題名		小児・AYA 世代の限局期成熟 B 細胞性リンパ腫に対するリツキシマブ併用化学療法の有効性の評価を目的とした多施設共同臨床試験 (JPLSG-B-NHL-20)		
統括管理者		特定非営利活動法人 日本小児がん研究グループ (JCCG)		
定期報告書受付		2025 年 12 月 18 日		
審査参加状況		(参加) 浅田委員を除く出席委員 (不参加) なし		
質疑応答者		なし		
審査	当該研究の実施状況 (対象者数の進捗、疾病等発生・不適合発生状況及び報告、安全性・科学的妥当性評価) について、特に問題ないことが確認された。利益相反について、管理基準に変更はなく、管理計画は変更審査に提出とのことより、委員会は全員一致で継続を承認と判定した。			
結論	判定	承認	<input checked="" type="checkbox"/> 全員一致	<input type="checkbox"/> 他 ()
	理由等	—		

II. 報告

1. 実施計画事項軽微変更報告：以下 4 件について報告した。

	整理番号	研究課題名	統括管理者	通知日	変更事項
1	C2018-15	標準的化学療法を行った進行期小児リンパ芽球性リンパ腫の予後因子探索を主目的とした多施設共同試験 (ALB-NHL-14)	JCCG	2026/2/18	研究の問合せ先
2	C2021-001	小児の複数回再発・難治 ALL に対する少量シタラビンとブリナツモマブによる寛解導入療法の第 II 相試験 (JPLSG-ALL-R19 BLIN)	JCCG	2026/1/22	管理者名
3	C2025-004	小児・AYA 世代ホジキンリンパ腫 (HL) におけるブレンツキシマブ・ベドチン (BV) 先行投与反応性による治療層別化と放射線照射全廃をめざす多施設共同臨床試験 (JPLSG-HL-20)	JCCG	2026/1/26	管理者許可の有無、進捗状況 (第一症例登録日)
4	C2025-005	小児・AYA 世代ホジキンリンパ腫 (HL) におけるブレンツキシマブ・ベドチン (BV) 先行投与反応性による治療層別化と放射線照射全廃をめざす多施設共同臨床試験 (JPLSG-HL-20)	JCCG	2026/1/26	管理者許可の有無、進捗状況 (第一症例登録日)

III. その他

・次回以降の開催予定日について

以上

文責：NMC 臨床研究審査委員会事務局